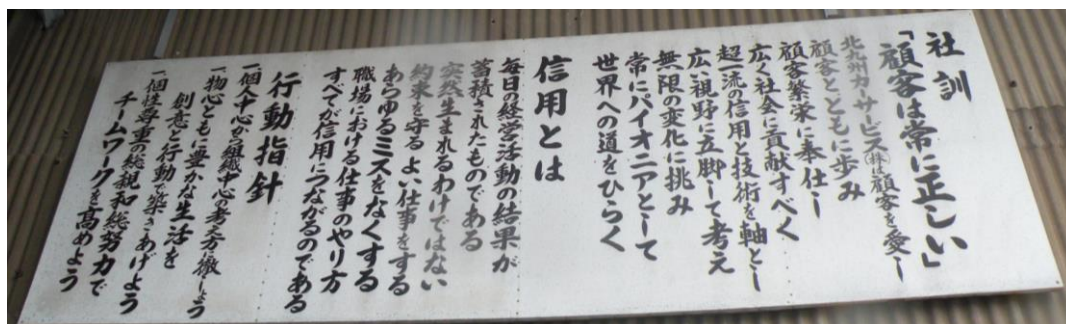


エコアクション21

2024年版

環境経営レポート

(運用期間 2024年1月ー12月)



北九州カーサービス 株式会社

2025年1月17日作成

目 次

	ページ
環境経営方針	1
1 事業概要	2
2 当年度及び中期環境経営目標	3
3 環境経営計画	4
4 実施体制	5
5 環境活動の取組結果	6
6 環境活動の取組結果の評価及び今後の計画	7
7 次年度の環境経営目標	8
8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無	9
8 代表者による全体評価と見直しの結果・指示	9

環境経営方針

基本理念

環境への取り組みは、世界平和に繋がります。

日本は穏やかな自然環境に恵まれ、「和を以って尊と為す」という思想が、馴染んでいます。日本人は、本質的に平和愛好家です。グローバル化と情報社会への対応で、政治が混迷している今、環境問題に貢献すべきです。地元中学校の職場体験学習への積極的な協力や、年2回の顧客感謝祭等の機会に環境立国を、社会に訴え続けています。人間は、五感で損得を判断します。3・6・3運動を展開し、エコ整備の普及に努めています。「3万円掛ければ、6ヶ月で元を取り、30%の燃費向上」です。二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・水使用量の削減に取り組み、グリーン購入とエコ整備の普及・促進を通じて燃料消費率向上による二酸化炭素排出量の削減や、排出ガスの清浄化により社会に貢献し、さらに省エネ・低公害車の販売に努め企業活動面で地球環境の保全に配慮し行動します。

行動指針

基本理念に基づき「地球環境を守ろう」をスローガンに、環境との共生、調和を最重要課題とし、以下の「行動指針」を定める。

- (1) 二酸化炭素排出量・削減の推進(自社における削減)
事業所内の5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)を徹底的に取り組む。
事業活動に於ける電力・化石燃料などの削減による、二酸化炭素排出量の低減に努める。所有車におけるアイドリングストップ・エコドライブ・エコ整備エンジン洗浄(グリーン購入法特定調達品目)を実施する。
環境汚染防止整備の普及・拡大を継続的に推進する。
- (2) 廃棄物排出量・削減の推進
事業所から出る廃棄物を最小限にする努力をする。そのために、分別処理を推進。
- (3) 総排水量削減の推進
事業所内で使用する使用水量の削減に努める。
- (4) グリーン購入の推進
事業所内でのグリーン購入に努める。
- (5) エコ整備・エコ車検の推進
自動車における燃費向上による削減や有害な排出ガス削減を目指しエコ整備・エコ車検の環境汚染防止整備を強力に推進する。
エコ整備の有用性について説明技術や技術の向上に努める。燃費改善に向けエコノートの活用を推進する。
- (6) リサイクル活動による省資源化
省資源のために、リサイクル自動車部品の使用を積極的に推進する。
- (7) 環境関連法規制等の遵守
環境関連法規制等を遵守することを誓約する。
- (8) 北九州市民憲章を唱和し、北九州の魂(こころ)を基本に行動する。
- (9) 化学物質の適正な管理
- (10) 環境経営の継続的改善をすることを誓約する。

平成18年11月8日制定
平成28年2月15日(再改訂)
平成31年1月10日(再改訂)

北九州カーサービス株式会社
代表取締役 沖 王道

1.事業概要

- 1) 事業者名及び
代表者 北九州カーサービス 株式会社
代表取締役 沖 王道
- 2) 法人設立年月日 昭和45年5月19日
- 3) 所在地 〒870-0815
福岡県北九州市八幡西区本城東五丁目2番7号
- 4) 環境管理責任者 環境管理責任者 沖 王道
及び連絡者 沖 王道
- 5) 連絡先 連絡担当者 沖 王道
TEL : 093-601-1255
FAX : 093-601-1257
E-mail dgb00250@ceres.ocn.ne.jp
- 6) 事業規模 資本金 1千万円
従業員 7名
売上高 165百万円 (2024年)
床面積 1500㎡
- 7) 事業活動の内容 自動車販売・整備・自動車保険
- 8) 登録・認証範囲 全組織・全活動・全従業員
- 9) 事業年度 1月～12月

2. 当年度及び中期環境経営目標

	単位	基準 2020年- 2022年平均	目 標		
			2023年 (R5年)	2024年 (R6年)	2025年 (R7年)
二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ /百万円	126.5	125.2	123.98	122.7
廃棄物総排出量の削減	kg/百万円	40.0	39.56	39.16	38.8
総排出水量の削減	m ³ /百万円	2.08	2.06	2.04	2.02
グリーン化商品購入の推進	件数	14	14	14	14
リサイクル活動による省資源化の 推進 (リサイクル部品の使用を顧客に勧める)	リサイクル品の 使用件数	28	30	30	30
化学物質の適正な使用・管理 に努める		使用に於いてはSDSに基づき安全・適正な使用・処理・処分を要員へ教育し実施を行なう。			

※電力の排出排出係数は、平成26年度九州電力実排出係数の0.584kg-CO₂/kWhを用いた。

3. 環境経営計画

上記目標を達成する為に以下の活動を実施する。
当年度の主要な環境活動計画の内容

1. 二酸化炭素排出量の削減

①電気使用量の削減

- ・未使用区域の消灯の徹底及び節電シールの表示で従業員の意識向上。

- ・電気機器、換気扇等の不使用時の停止。
- ・室内温度管理の徹底。
- ・明かりとり窓の設置。

全員で頑張るぞ！



②燃料使用量の削減

- ・効率良い作業スケジュールの検討実施。
- ・車両の燃料使用量と走行距離のチェック。
- ・エコドライブの徹底。
- ・顧客への代車使用の適正運転のお願い・指導。

2. 廃棄物の総量削減

- ・金属くず等のリサイクル
- ・事務所からの排出される廃棄物の分別徹底

3. 総排出水量の削減

- ・洗車記録の確認、洗車時間の短縮
- ・節水コマの取り付け。
- ・漏水の定期点検。
- ・雨水タンクを設置。

4. グリーン購入の推進

- ・グリーン対象品の購入推進

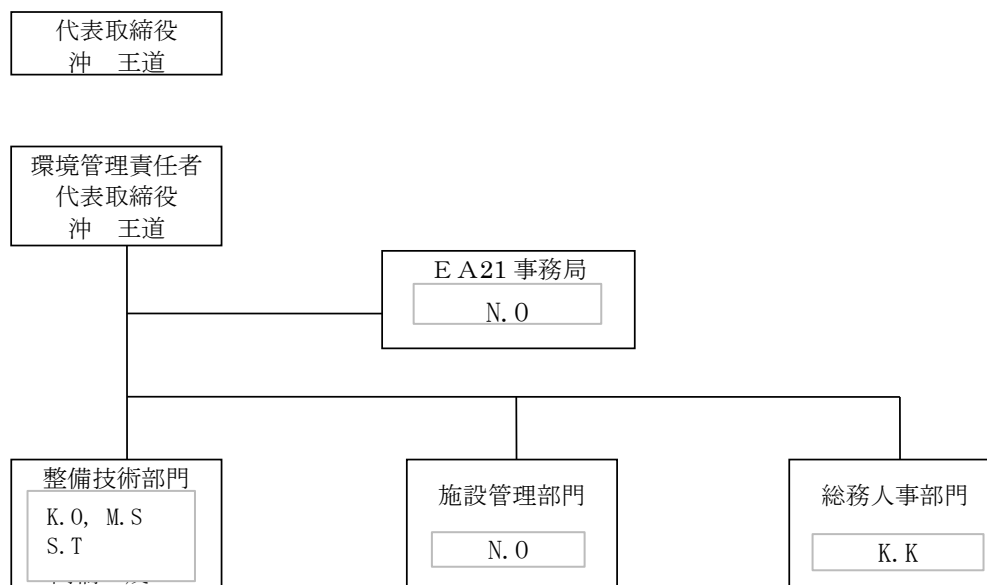
5. リサイクル活動による省資源化の推進

- ・顧客にリサイクル品のお勧めをする

6. 化学物質の適正な使用・管理。

- ・従業員への環境教育の実施。
- ・SDSで化学物質の適正な取扱いの勉強会。

4. 実施体制



氏 名	所 属	役割 ・ 責任 ・ 権限
沖 王道	代表取締役 EA21代表者	1 環境管理責任者の任命 2 環境方針の制定 3 環境経営システムの実施及び管理するための資源の準備 4 環境経営システムの定期的見直しの実施
沖 王道	環境管理責任者 EA21責任者	1 環境経営システムの確立・実施・維持するための処置 2 環境方針の制定 代表者に対しそのシステムの実施報告 3 推進機関であるEA21事務局の責任者として事務局運営 4 環境経営システムの教育・訓練計画・実施責任者
N. O (自動車保険担当)	EA21事務局	1 環境責任者を補佐し構成員全員参画による EA21の運営改善、EA21関連文章の作成 2 改廃、保管、伝達の業務を推進
K. O, M. S S. T	整備技術部門	CO2削減のための整備研究・技術開発 1 エコ車検 2 エコ整備 3 エコアース 4 窒素ガス充填 5 その他エコメンテナンス実施
N. O (5S担当)	施設管理部門	リサイクル品の活用、廃棄物の削減・分別処理、化学物質使用量の削減 1 リサイクルパーツの積極的利用 2 バッテリー・バンパー・タイヤ・オイル等のリサイクル流通 3 ゴミの分別処理、整理・整頓・清掃・清潔・躰を徹底する 4 化学物質使用量の削減
K. K (フロント担当)	総務人事部門	省資源・省エネルギーの推進 1 アリドリリングストップ・エコドライブの推進 2 節水・節電・紙消費量削減 3 グリーン購入比率の推進UP

5. 環境活動の取組結果

(期間 1月～12月)

	単 位	2024年(R6)		目 標 達成率
		目 標 (前年-1%)	実 績	
二酸化炭素総排出量	k g-CO ₂	18,589	21,799	85.3%
二酸化炭素排出量削減	k g-CO ₂ /百万	123.98	132.0	93.9%
電気の使用量削減	kWh/百万	150.2	154.1	97.5%
灯油使用量削減	l/百万	0.36	0.12	300.0%
LPG使用量削減	k g/百万	0.09	0.08	112.5%
ガソリン使用量の削減	l/百万	14.8	17.2	86.0%
軽油使用量削減	l/百万	0.22	0.62	35.5%
廃棄物総排出量の削減	k g/百万	39.16	31.1	126.0%
総排出水量の削減	m ³ /百万	2.04	1.59	128.3%
グリーン化商品購入の推進	件数	14	14	100.0%
リサイクル活動による省資源化の推進	-	・顧客への説明の実施	★全ての整備車に於いて説明を行なった。	
(リサイクル部品の使用を顧客に勧める)	件数	30	30	100%
化学物質の適正な使用・管理に努める	-	・適正な取扱いの学習の実施。	★化学物質の環境への影響をSDSを教材にしてその取扱い・廃棄等について学習した。	

※電力の排出係数は、平成26年度九州電力実排出係数の0.584kg-CO₂/kWhを用いた。



★電気自動車導入に対する検討…展示中

★スタッフの勉強をはじめ、お客様体験試乗実施中。

6. 環境活動の取組結果の評価及び今後の計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

- ・二酸化炭素の総排出量は、21,799 kg-CO₂で、総量では85.3%と未達となった。
- ・電気使用量は、節電に心がけ、室内温度管理を全員で管理したが、夏場、冬場の気温の状況が影響し目標を上回った。今後も継続して電力の削減に向け取込んで行く。
- ・燃料（ガソリン）の使用はエコドライブ・適正な整備を心がけたが、整備増に伴い、代車のガソリン使用量が増加した。
- ・軽油については目標未達であるが、レッカー車の使用のタイミングの影響もある。今後留意していく。
- ・灯油及びLPGについては、使用頻度を抑えたため使用量を削減することができた。

※今後も継続して削減を目指して活動を行う。

2. 廃棄物の総量削減

- ・排出量及び原単位とも目標が達成できた。
- ・各員分別の意識は向上している。今後も徹底した分別を行ない、再資源化の有価物かを目指していく。

3. 総排出水量の削減

- ・目標が達成できた。今後も、夏場での節水に心がけながら活動継続することを次年度の目標とした。

4. グリーン商品購入の推進

- ・作業服のエコ商品を取り入れた。また、事務用品はフাইルやコピー紙を購入した。
- ※今後に向けてはさほど対象品は無いので現状を維持継続していくことを検討していく。

5. リサイクル活動による省資源化の推進

- ・リサイクル品の使用を顧客に勧めた結果、目標30件に対して30件だった。
- ※これからもPRし、お客様と当社のエコ活動とコスト削減に努める。

6. 化学物質の適正な使用・管理に努める

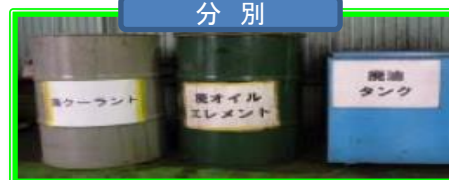
- ・使用する化学物質のSDSを基に勉強会を実施し、環境に与える影響や取扱の注意事項又処理に於ける適切な実施事項を社員が習得し一層の確実性が一層向上した。

※今後もさらに見識を高め慣れに陥る不適切なことが起きないように継続して学習を継続してゆく。

明かり取りを施工



分別



雨水の利用



学習



7. 次年度の環境経営目標

2022年に策定した3ヶ年の環境経営目標に基づき、活動を継続していく。

	単位	基準 2020年- 2022年平均	目 標		
			2023年 (R5年)	2024年 (R6年)	2025年 (R7年)
二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ /百万円	126.5	125.2	123.98	122.7
廃棄物総排出量の削減	kg/百万円	40.0	39.56	39.16	38.8
総排出水量の削減	m ³ /百万円	2.08	2.06	2.04	2.02
グリーン化商品購入の推進	件数	14	14	14	14
リサイクル活動による省資源化の 推進 (リサイクル部品の使用を顧客に勧める)	リサイクル品の 使用件数	28	30	30	30
化学物質の適正な使用・管理 に努める		使用に於いてはSDSに基づき安全・適正な使用・処理・処分を要員へ教育し実施を行なう。			

※電力の排出排出係数は、平成26年度九州電力実排出係数の0.584を用いた。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社に係る環境関連法規（廃掃法、フロン排出抑制法、騒音規制法）等に於けるその遵守状況を法を取りまとめに基づき確認した結果、全てに於いて違反はありません。また、関係当局からの違反指導の指摘等もありません。利害関係者からの訴訟等もありませんでした。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示

E A 2 1 導入により、従業員が自主的に環境活動に取り組むようになって来ている。
この活動を通して自主性を引き出し、アピールしていきたい。
最近の取り巻く経営環境は、とても厳しい状況にはあるが、E A 2 1 の取り組みにより、自己と従業員と会社が、成長している。
今後も活動を継続し環境経営に努める。